



R5年産粗飼料確認・経営後半戦に向けた再点検

一番草が終わり、9月以降の給与サイレージの開封も気になるところです。

我が家の粗飼料と妊娠牛の期中棚卸しを行い、今後1年の見通しと経営作戦をたてておきましょう（年末では間に合いません！今が絶好のチャンスです）

□ 自家産粗飼料分析の実施と給与方針の見通し

・年間給与量は確保できたか？

→ 本年収量は圃場間差が大きい年でした。少ない傾向の場合は2番・3番草での確保が必要になります。

・粗飼料品質はどうか？

→粗飼料分析を実施し、品質を把握しておきましょう。

品質が十分に確保できた場合は、配合の号数ダウン、併給飼料から草への置換えも視野にいれ柔軟に対応できる準備をしましょう。

□ 繁殖再点検

・搾乳牛：発情再発牛のとりこぼしを処置しよう！

繁忙期で妊娠鑑定が遅れてはいませんか？取りこぼした牛は再受精に向けて処置をしましょう！空胎確認のためにPAGの積極的活用もおすすめします。

・育成牛：来春の妊娠牛はそろっているか？

→未経産牛の年間妊娠頭数の確認が必要です。くれぐれもF1の付けすぎにご注意ください。来年のエース牛をしっかりと確保しましょう。

2番草収穫が始まりました。これまでの疲れもたまっています。
こまめな休憩と余裕をもった作業計画で進めましょう。

